

文部科学省創生実行計画の進捗状況と今後の進め方（省改革推進・コンプライアンス室）

| 項目 | 現在の状況と今後の具体的な進め方 |
|--|--|
| 省改革実行本部 | <ul style="list-style-type: none">・ <u>4月17日に第1回目を開催し、計画の進捗状況と今後の進め方を確認するとともに、6月に第2回を開催し、実施状況の確認を行う。9月頃に第3回を開催し、中間的な検証を行い、来年3月に、第4回を開催し、計画の実施状況について取りまとめる。</u>・ 本部においては、実施状況のフォローアップを行いつつ、<u>省内職員の意識調査も行き、その成果を検証する。</u> |
| コンプライアンス体制 （コンプライアンスチーム、通報窓口、相談員など） | <ul style="list-style-type: none">・ <u>4月1日に、第三者により構成されるコンプライアンスチーム、省内に省改革推進・コンプライアンス室を設置。</u>コンプライアンスチーム会合については、今後第1回目を開催予定。・ 内部公益通報の規程を整備し、<u>省内窓口を省改革推進・コンプライアンス室に設置するとともに、通報者保護を図りつつ、同室がコンプライアンスチームの指導・助言を受けることとした。男女複数の弁護士に省外窓口業務を5月より開始予定。</u>・ <u>コンプライアンス等相談員（仮称）について、省内の意見を整理し、4月中に規程を整備する。</u>・ <u>4月1日に公文書監理官を配置するとともに、公文書管理に係る内部通報窓口を新たに設置。</u> |
| 業務改善の徹底 （業務改善実行会議、業務改善推進員の公募） | <ul style="list-style-type: none">・ <u>4月22日に、第1回目の業務改善実行会議を開催し、他省庁の先進的な取組（幹部による組織運営方針の策定等）について、総務省の行政管理局から話を聞く。同様の内容の研修を、審議官・課室長級についても、4月23日に行う。</u>・ <u>業務改善推進員を各局及び大臣官房において公募等により選定。現在、12部局のうち4部局において終了（計56名）。2部局が選定中。6部局が準備中。今後、これらの公募メンバーによる局横断課題への対応チームを編成。</u>・ 今後、「業務改善改革計画（仮称）」のたたき台の作成や職員意識調査の企画などの取組を開始。 |
| 幹部と若手のランチミーティング | <ul style="list-style-type: none">・ <u>次官とのランチ会</u>について、入省4年目までの若手職員（総合職と一般職）について、<u>4月16日に第1回目を開催。</u>・ 引き続き、次官とのランチ会を行いつつ、<u>文部科学審議官とのランチ会も開催する予定。</u> |
| 幹部のリーダーシップの確立 （幹部による組織運営方針の作成、基本方針・行動指針の振り返り） | <ul style="list-style-type: none">・ 課室長以上の幹部による「業務改善を含めた組織運営方針等」の策定作業を開始。・ 基本方針、行動指針については、職員が常に携帯できるように、名刺の裏に印刷できるようなテンプレートを検討中。 |

文部科学省創生実行計画の進捗状況（大臣官房人事課）

| 項目 | 現在の状況と今後の具体的な進め方 |
|--|--|
| <p>人事の改革（4月の省内人事及び国立大学法人との人事交流）</p> | <ul style="list-style-type: none"> 採用区分（事務系・技術系、総合職・一般職、本省採用・転任等）や年次・年齢・性別等にとらわれず、資質・能力・適性に応じた人事配置の徹底を目指す。 （参考データ） <ul style="list-style-type: none"> - H31.4総合職以外の採用区分から登用された本省幹部（課長級以上）は7名（内訳：審議官2名、課長級5名） ※課長級1名については新たなポストで起用 - H30.7女性の登用状況 指定職3.1%（H32年度末政府目標※：5%）、課室長級11.7%（H32年度末政府目標※：7%）※第4次男女共同参画基本計画 - H31.4総合職・一般職採用者に占める女性の割合は40.0%（毎年度の政府目標※：30%、文部科学省目標：40%） 国立大学法人との人事交流については、平成31年4月に理事交代予定の30大学と調整を行い、理事としての出向について概ね半数（16大学）とした。 |
| <p>「人材育成の基本的な考え方」の策定</p> | <ul style="list-style-type: none"> 総合的・戦略的な人事配置、長期的視点に基づく計画的な人材育成を推進するため、採用、人事配置、交流人事、人材育成等に関する「人材育成の基本的な考え方」を夏頃を目途に策定予定。その基本的な要素を踏まえた人事配置を、次の人事配置において実施予定。 職員の多様な資質向上の機会を確保するため、研修体系も充実。 <ul style="list-style-type: none"> - 4月2日～新規採用等研修を実施中（教育現場研修を創設） - 4月11日メクサポ第1回開催（若手職員の育成・支援のための勉強会） - 夏頃、幹部職員も対象にした公務員倫理研修を実施予定 |
| <p>多面観察の分析・検証・充実</p> | <ul style="list-style-type: none"> 局長～課長補佐級の職員270人（室長・企画官級以上は全員）を対象に多面観察を本格実施した（平成30年度）。結果は、所属長から本人へフィードバックを行っており、マネジメント能力の向上、職場環境の改善、組織パフォーマンスの向上を推進。 今回の実施内容を踏まえ、職階毎の評価項目の充実など、更なる改善を検討中。 |
| <p>省内公募ポスト</p> | <ul style="list-style-type: none"> 局課の発案等に基づき、職種・年次等にかかわらず省として広く適任者を募ることが適切と考えられるポストの設定や運用等の検討を進め、年度内に省内からの公募を目指す。適材適所の人事配置をより一層推進し、省としてのパフォーマンスの最大化を目指し、実施方法を検討中。 |

文部科学省創生実行計画の進捗状況と今後の進め方（大臣官房政策課）

| 項目 | 現在の状況と今後の具体的な進め方 |
|----------------------------|--|
| 提案型政策形成の導入 | <ul style="list-style-type: none"> 4月下旬から、AI等の先端技術の文部科学施策への活用方策等（※1）をテーマに提案型政策形成を試行的に実施し、職員からの提案について書面審査、担当課とのブラッシュアップを経て、幹部職員及び文部科学省AI戦略推進タスクフォース（※2）構成員へのプレゼンテーションを行う。 上記の試行的取組の成果と課題を踏まえ、7月上旬を目途にテーマを限定しない提案募集を開始する予定。 <p>（※1）Society 5.0（超スマート社会）の実現に向けた、①全ての国民がAI等の素養を身につけるための教育の在り方、②国際的なAI等開発競争に打ち勝つための研究開発、③AI等の先端技術の文部科学施策への活用方策 （※2）AI戦略推進等のため、事務次官を座長、サイバーセキュリティ・政策立案総括審議官を事務局長とした検討会を設置。</p> |
| 政策対話の促進 | <ul style="list-style-type: none"> 政策立案機能強化、人材育成・交流のため、政策立案教養研修（Driving MEXT Project、以下、ドラメク）（※3）を開催し、企業・大学・自治体・NPO関係者等との政策対話を実施。 4月以降もこうした政策対話を月1回程度開催し、省内職員と産学官民の幅広い現場と交流を図る。その際、より多くの職員が参加できるよう、実施時間や開催場所の工夫等を行う。 <p>（※3）職員が様々な立場の者との対話を通じて、共感を得ながら政策の企画立案・実施能力の強化を図る取組。（H31.3以降8回開催）</p> |
| 政策立案・実行機能強化のための環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> 国研及び科政研も参加する省内のEBPM推進体制を整備。EBPM関係課長等会議を開催し、分野の特性に応じたEBPMの検証に着手。 具体的には、5月に省内研修を実施した上で、EBPMに取り組む事業等を省内公募し、外部有識者の助言も得つつ、事業の質の向上等を図ることにより、政策立案・実行機能を強化する。 また、概算要求過程でEBPMを活用するとともに、企画担当と予算担当の連携の促進を図ることで、施策の精度を向上。 |

※ 政策課担当の「省内公募人員の参画による業務改善」については、p1.省改革推進・コンプライアンス室の項目「業務改善の徹底」、p.4総務課広報室の項目「広報推進チームの設置」に記載。

文部科学省創生実行計画の進捗状況と今後の進め方（大臣官房総務課広報室）

| 項目 | 現在の状況と今後の具体的な進め方 |
|--|---|
| 全省的な広報体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4月より、総括審議官の下、広報室において一元的に省内の報道発表案件を事前に確認する体制（重要案件について、報道方法や公表タイミングを総括審議官及び広報室にて事前に確認し、全省的な観点から助言を行うこと等）</u>を新たに構築し、運用を開始する。 |
| 広報推進チームの設置 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>5月に公募を実施し、同月中にチームを発足・運用開始する方向</u>で、現在はチームの担う役割等具体的方針を検討中。 |
| 国民の理解につながる広報の拡充（文科省HP・SNSによる情報発信の充実等） | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>香川照之氏（こどもの教育応援大使）及び古坂大魔王氏（CCC（クロスカルチュラルコミュニケーション）大使）へ広報大使を委嘱し、活動を開始（※）</u>いただいたところ。引き続き積極的な活用を進める。 （※）平成31年3月 古坂大魔王氏によるトビタテ！留学JAPAN関連のイベント出席及びメッセージ動画出演を実施。 ・ 職員の広報意識及びスキルの向上のため、従前より実施している若手職員向け「報道研修」の内容を充実させ、<u>4月より「広報研修」として機能強化</u>（従前の報道対応に加え、HPやSNS等による情報発信スキル習得を目的とした研修内容を追加）するとともに、施策等の広報活動の立案・実施に際し、<u>職員が広報の専門的知識を有する専門家に相談できるよう、専門家へ気軽に相談できる場として、ランチミーティング（月1回開催）</u>を新たに開始。 引き続き、<u>省内広報活動についての顕彰の充実等</u>様々な方法により、意識及びスキル向上のための取組を進める。 |

【取り組みの具体事例】広報大使の活用として、CCC（クロス カルチャル コミュニケーション）大使である古坂大魔王氏による、トビタテ！留学JAPAN関連のイベント（#せかい部オフ会）出席、NHK、新聞取材対応、及びメッセージ動画撮影に御協力いただきました。

高校生のための「世界を知る」ソーシャル部活
大好評の公式オフ会 vol.2
大阪で開催決定!

知らない世界を、シェアしよう。

ここでしか聞けない!
ピコ太郎と回った世界のハナシ

3/17 (日)
13:30~
@公文教育会館
(新大阪駅から徒歩6分)

当日CONTENTS:

- 素敵なプレゼントも! チーム対抗★オリジナル世界クイズ大会
- スペシャルゲスト対談
- 世界のお菓子を食べながらフリー交流タイム

スペシャルゲスト: 古坂大魔王さん
ピコ太郎のプロデューサー/お笑い芸人



#せかい部 @sekaibu · 3月18日
昨日行われた #せかい部オフ会@大阪
スペシャルゲストでご出演頂いたCCC大使の古坂大魔王さん@kosaka_daimaou
から #せかい部 の部員のみなさんへビデオメッセージを頂きました!

ありがとうございました!!

#古坂大魔王 #文部科学省 #CCC大使

古坂大魔王氏から、海外を目指す高校生に対して、激励のメッセージ動画をYouTubeで配信しました。

大阪ニュース

古坂大魔王さん 中高生に海外経験を披露

2019年3月18日

「P P A P」が世界的に大ヒットした「ピコ太郎」の生みの親で、タレントの古坂大魔王さん（45）が17日、大阪市淀川区の公文教育会館で開かれた中高生向けの留学関連イベントに登場し、海外で得た経験値を踏まえた「世界の面白さ」を披露した。

当日の様子は、NHKニュース（関西）、大阪日日新聞、みらい部などのメディアに取材いただきました。

海外留学促進のため、文科省と民間が取り組む官民共同キャンペーン「トビタテ！留学ジャパン」の企画で、海外に関する情報を高校生同士が共有する会員制交流サイト（SNS）上の“部活動”「せかい部」の一コマ。

P P A Pは2016年秋に大ブレイク。以来、古坂さんは2年余りで世界30地域を巡るなど海外へ活動の場を広げており、現在は文科省が手掛けるグローバル人材育成などの普及・広報大使を務めている。

トークでは「海外でも臆しない方法」について、「100点満点を取ろうとするから臆する。自分が臆さない方法を、他人に伝えることが大事だ」と話した。